

前回の第三者委員会における意見と 対応方針について

令和 4 年 9 月 29 日

農 林 水 産 省

1 令和3年度第2回多面的機能支払交付金第三者委員会における主な意見及び対応方針

R4.3. 16 令和3年度 第2回委員会	ご意見	委員 名	対応方針(案)
【資料2-1】 令和3年度多面的機能支払交付金の効果等に関するアンケート結果について	広域化といっても、それぞれの地域で様々で、広域化すると事務処理が軽減される場合と、広域化すると事務処理が煩雑になる場合とがあるということが、このアンケート結果に出ている。市町村単位で、軽減される場合と負担が増える場合と、分類できるのではないかな。 望むか望まないかというのの一番の分かれ目は、事務負担が増えるのか減るのかということだと思う。(軽減される場合と負担が増える場合が分類できれば)、広域化を進めるべきところと、あまり進めない方がいいところという分類ができ、アプローチも変わると思う。	飯田 委員	アンケート結果を再分析し、広域化すると事務負担が増えると回答した市町村に改めて回答の理由についてヒアリングを行ったところ、事務処理と集落間等の調整とを混同して回答したケース、現状広域化に対する必要性を感じておらず、現状以外の事務が発生しそうという感覚的な回答をしたケースなどが散見された。このため、広域化が必要ではないと回答した主な理由としては、共同活動や事務手続きに係るルールづくりや統一化等の広域化に至るまでの集落間の調整が煩雑になることであると考えられる。
【資料3】 多面版SDGsローカル指標を用いた活動量評価にかかる試行調査等と今後の展望について	世代で(SDGsに対する)認識が違う。特にSNSやホームページを余りよく分からない世代にSDGs自体を知らない方が多いため、情報発信の仕方を考えていくべきではないかな。	五日市 委員	令和4年度多面的機能支払交付金の効果に関する調査検討業務において、多面版SDGsローカル指標による評価及び多面的機能支払SDGsアイディアシート(案)の普及を効果的に行うための方法について検討することとしている。令和4年度第2回の委員会にて結果を報告予定。